

2006年度

第1四半期決算説明会

常務取締役 執行役員経営管理第1本部長
平井 茂雄

<http://www.eneos.co.jp>

2006年7月31日



新日本石油
Your Choice of Energy

06年度第1四半期決算のポイント

経常利益は、552億円と前年同期比△174億円減益

〔在庫影響除き経常利益は、283億円と前年同期比+47億円増益〕

- ◆ 在庫影響のプラスが大幅に減少
- ◆ 自家使用燃料代のアップ等により、石油マージンが悪化
- ◆ 生産数量増、原油価格の上昇等により石油・天然ガス開発部門が増益
- ◆ 受取配当金の増加等により営業外損益が良化

06年度第1四半期 損益概要

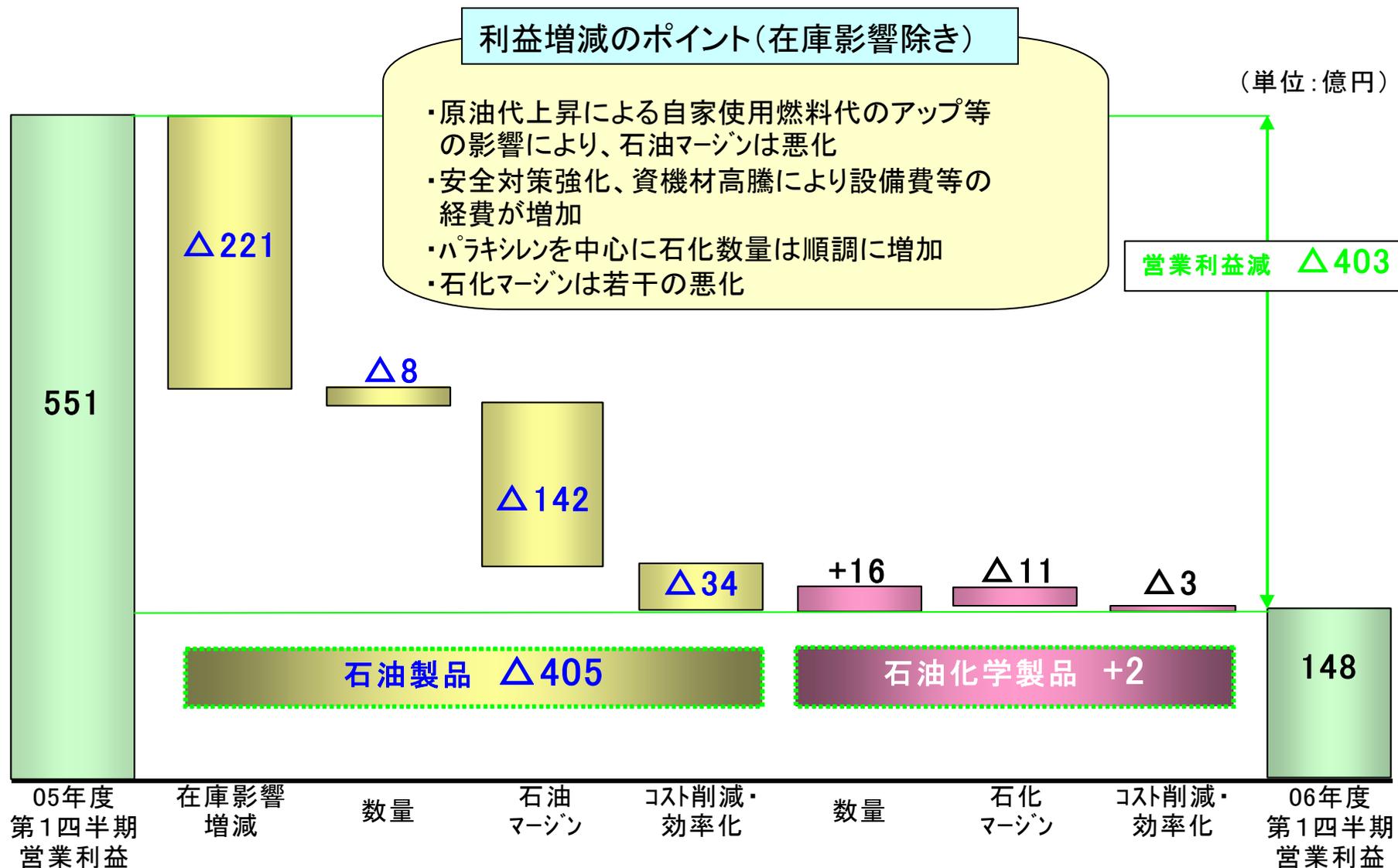
	05年度 第1四半期	06年度 第1四半期	増 減
原油価格 (\$ / Bbl)	48.1	63.7	+ 15.6
為替レート (円 / \$)	106.7	115.2	+ 8.5
シ・ポイント等除き 販売数量 (万 K L)	1,617	1,665	+ 48
	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	12,378	15,069	+ 2,691
営業利益 (在庫影響)	703	434	△ 269
(在庫影響除き)	(490)	(269)	(△ 221)
	(213)	(165)	(△ 48)
営業外損益	23	118	+ 95
経常利益 (在庫影響除き)	726	552	<u>△ 174</u>
	(236)	(283)	(+ 47)
特別損益	14	19	+ 5
当期利益	399	287	△ 112

06年度第1四半期セグメント別営業利益の増減(前年同期比)

前期比△269億円 05年度1Q 06年度1Q
 (703億円 → 434億円)

I. 石油精製・販売	△403 億円	(551億円→148億円)
1. 石油製品	△405 億円	(443億円→ 38億円)
2. 石油化学製品	+2 億円	(108億円→110億円)
II. 石油・天然ガス開発	+132 億円	(156億円→288億円)
III. 建設・その他	+2 億円	(△4億円→△2億円)

石油精製・販売部門 営業利益増減分析

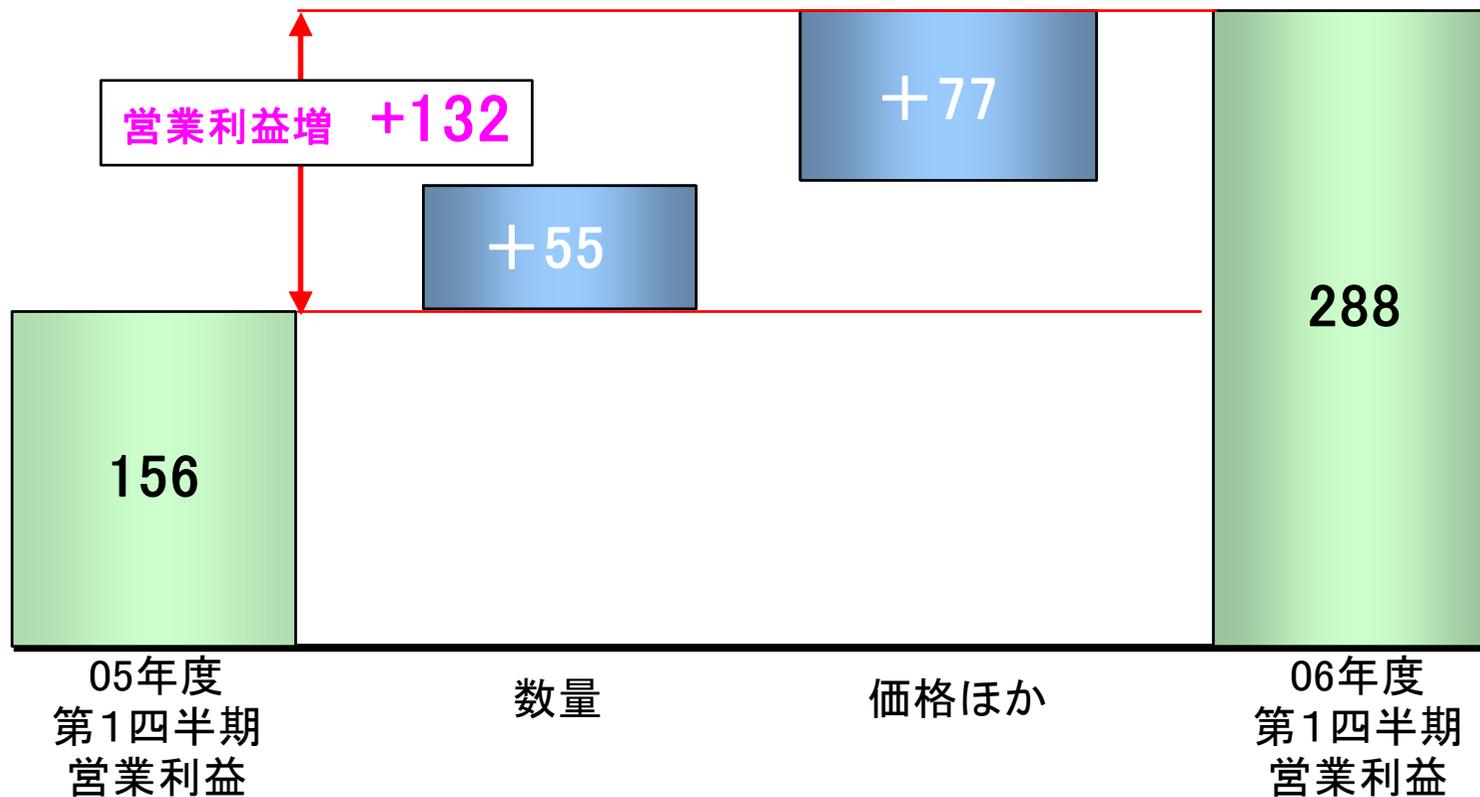


石油・天然ガス開発部門 営業利益増減分析

利益増減のポイント

- ・新規原油生産開始(オーストラリア ダンピア PJ)等により、販売数量が増加
- ・原油、ガス価格の上昇により販売価格が上昇

(単位:億円)



06年度決算見通し(4月公表を修正)のポイント

経常利益は、2,060億円と前回見通し(4月公表)比+690億円増益
〔在庫影響除き経常利益では1,620億円と前回見通し比△10億円減益〕

◆ 原油価格の前提を見直し

		\$/Bbl		前回(06/4)
• WTI	(06/7月以降)	70	←	60
• Dubai	(06/8月積み以降)	65	←	55
• 処理原油代(年度平均)		65.7	←	56.5
【参考】 為替レート		115	←	115

◆ 在庫影響が大幅に良化

◆ 自家使用燃料代のアップ、タイムラグの影響等により石油マージンが悪化

◆ 足元の好調な市況を反映し、石化マージンが良化

◆ 石油・天然ガス開発部門が増益

06年度損益概要(上期・年度 見通し)

(単位: 億円)

	上期 (見通し)	前回見通し比	年度 (見通し)	前回見通し比
原油価格(\$ / Bbl)	65.5	(06/7-9) 67.3 + 8.2	65.7	(06下期) 65.8 + 9.2
為替レート(円 / \$)	114.9	(06/7-9) 114.6 Δ 1.0	115.0	(06下期) 115.0 Δ 0.4
ポイント等除き 販売数量(万 KL)	3,320	+ 40	6,880	+ 40
売上高	兆 億円 2 9,700	+1,600	兆 億円 6 5,600	+4,300
営業利益 (在庫影響)	890	+630	1,820	+670
(在庫影響除き)	(490)	(+670)	(440)	(+700)
	(400)	(Δ 40)	(1,380)	(Δ 30)
営業外損益	150	Δ 20	240	+20
経常利益 (在庫影響除き)	1,040	+610	2,060	<u>+690</u>
	(550)	(Δ 60)	(1,620)	(Δ 10)
特別損益	Δ 30	Δ 20	Δ 60	+30
当期利益	510	+290	980	+280

06年度セグメント別営業利益の増減(前回見通し比)

前回比+670億円

06年度(前回) 06年度(今回)
(1,150 → 1,820)

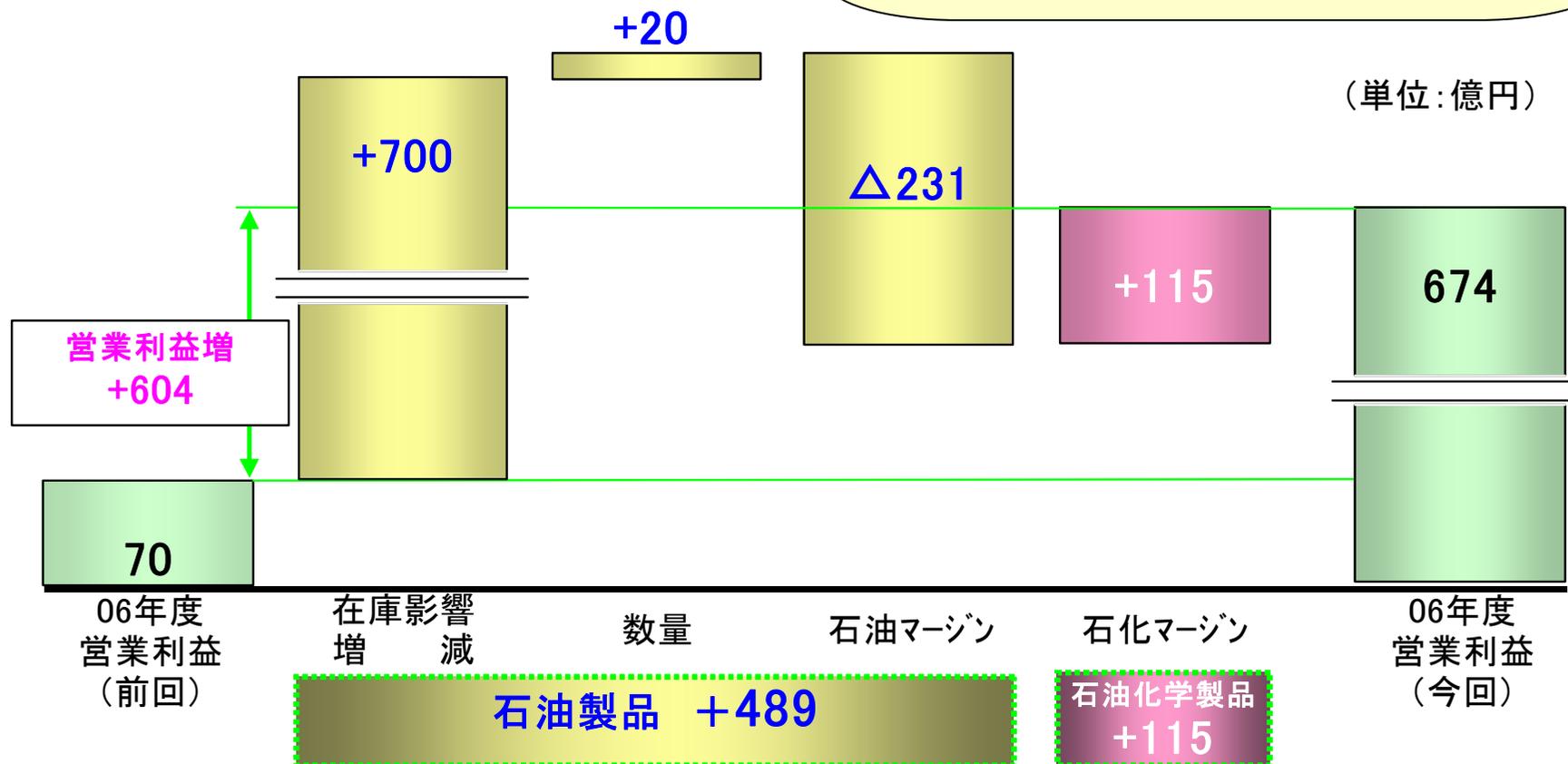
I. 石油精製・販売	+604 億円	(70億円→674億円)
1. 石油製品	+489 億円	(△285億円→204億円)
2. 石油化学製品	+115 億円	(355億円→470億円)
II. 石油・天然ガス開発	+72 億円	(940億円→1,012億円)
III. 建設・その他	△6 億円	(140億円→134億円)

石油精製・販売部門 営業利益増減分析

利益増減のポイント(在庫影響除き)

- ・原油代上昇による自家使用燃料代のアップ、タイムラグの影響等により、石油マージンは悪化
- ・パラキシレン、ベンゼン等の市況好調を反映し、石化マージンは良化

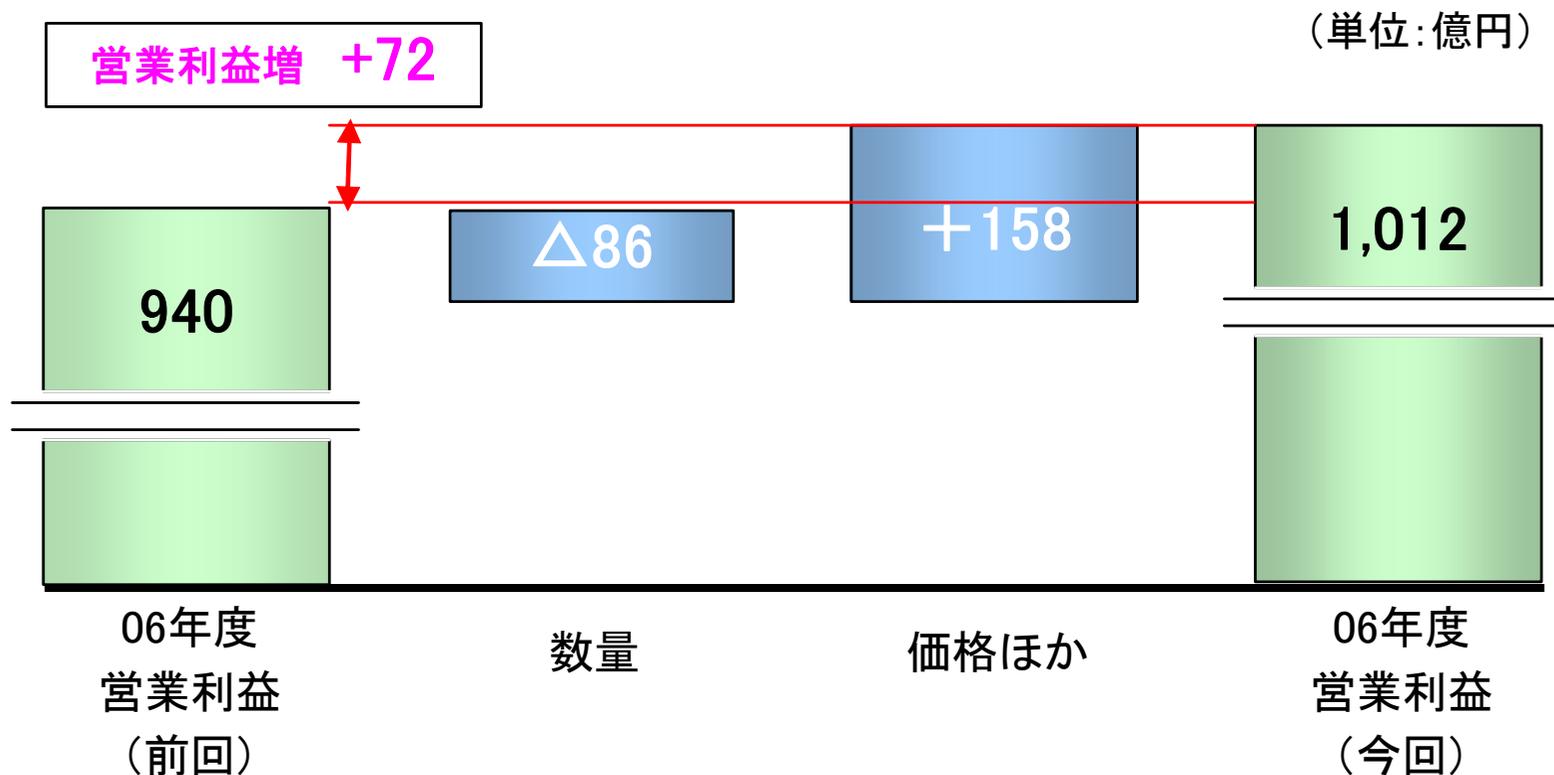
(単位:億円)



石油・天然ガス開発部門 営業利益増減分析

利益増減のポイント

- ・ハリケーン影響や個別プロジェクトの立ち上げ遅れ等により、販売数量が減少
- ・原油、ガス価格の上昇により販売価格が上昇



＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

2006年度第1四半期決算

参考データ集

2006年7月31日

<目次>

1. 参考データ①

セグメント別売上高(第1四半期・年度見通し)	P3
------------------------------	----

2. 参考データ②

油種別販売数量	P4
---------------	----

3. 参考データ③

燃料油内需・当社販売・販売シェア	P5
------------------------	----

4. 参考データ④

スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移	P6
スプレッド(パラキシレン価格－ドバイ原油価格)の推移	P7
スプレッド(ベンゼン価格－ドバイ原油価格)の推移	P8
スプレッド(プロピレン価格－ドバイ原油価格)の推移	P9

5. 参考データ⑤

SS数(固定式)、セルフSS数、Dr.Drive数	P10
---------------------------------	-----

6. 参考データ⑥

トッパー稼働率、油槽所数、石油・天然ガス開発生産数量(日量)	P11
--------------------------------------	-----

参考データ①

<セグメント別売上高(第1四半期・年度見通し)>

(1) 第1四半期(前年同期比)

(単位：億円)

合 計 15,069 (+2,691)					
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開 発 部 門	建 設 部 門	そ の 他
石油製品	石油化学製品				
12,739(+2,282)	1,076(+142)	13,815(+2,424)	494(+174)	572(+67)	188(+26)

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

(2) 年度見通し(前回公表比)

(単位：億円)

合 計 65,600 (+4,300)					
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開 発 部 門	建 設 部 門	そ の 他
石油製品	石油化学製品				
54,800(+4,200)	4,500(+300)	59,300(+4,500)	1,900(±0)	3,800(±0)	600(▲200)

※カッコ内は前回比増減を示す。

参考データ②

油種別販売数量

(単位:万KL)

油種	05年度 第1四半期	06年度 第1四半期	増減率(%)	年度見通し (4月発表)	年度見通し (今回発表)	4月発表比 (%)
揮発油	353	355	+0.3	1,480	1,477	▲0.2
(ハイオク)	(70)	(64)	(▲9.0)	(288)	(282)	▲2.3
(レギュラー)	(280)	(287)	(+2.6)	(1,178)	(1,181)	+0.3
ナフサ	47	48	+1.7	193	193	▲0.2
ジエツト	27	28	+4.2	109	111	+2.1
灯油	121	123	+1.4	737	749	+1.7
軽油	207	207	+0.2	834	838	+0.6
A重油	187	178	▲5.2	773	777	+0.5
C重油	205	195	▲4.8	639	665	+3.9
(電力C重油)	(96)	(101)	(+5.2)	(262)	(286)	+9.1
(一般C重油)	(109)	(94)	(▲13.7)	(377)	(379)	+0.3
内需燃料油計	1,147	1,134	▲1.3	4,765	4,810	+0.9
原油	53	61	+15.0	155	160	+3.4
潤滑油・化学品ほか	417	470	+12.7	1,920	1,910	▲0.5
ジョイント等除き計	1,617	1,665	+2.9	6,840	6,880	+0.6
ジョイント等	456	479	+5.2	2,110	2,090	▲1.1
総計	2,073	2,144	+3.4	8,950	8,970	+0.2

参考データ③

燃料油内需・当社販売・販売シェア

(単位: %)

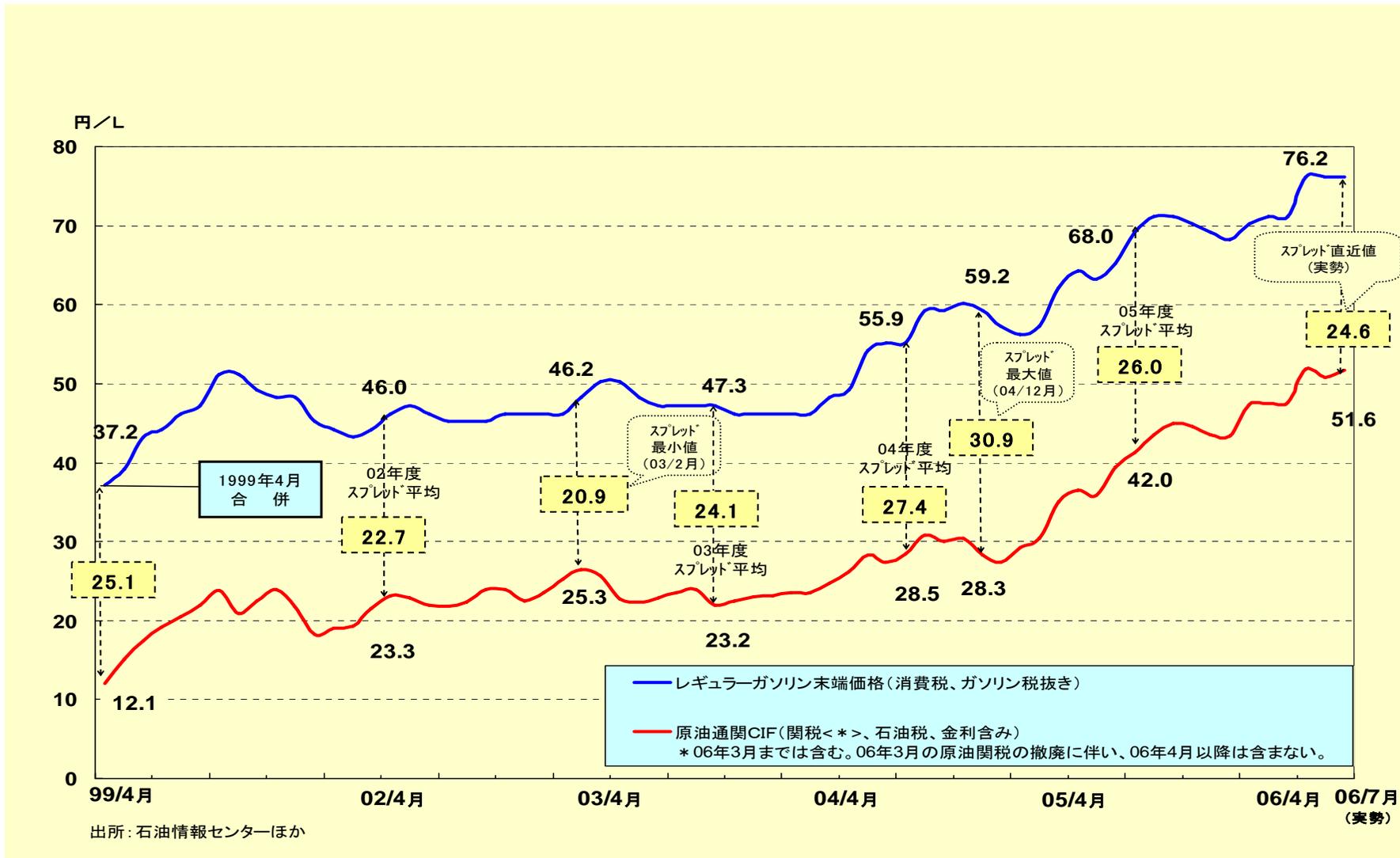
油種	燃料油内需 (06年度第1四半期/前年同期比)	当社販売 (06年度第1四半期/前年同期比)	販売シェア(消費ベース)		
			04年度	05年度	06年度 (第1四半期)
燃料油計	▲2.7	▲1.3	23.4	23.5	23.9
(揮発油)	(▲0.7)	(+0.3)	(23.9)	(23.6)	(23.8)
(灯油)	(▲2.5)	(+1.4)	(27.6)	(27.7)	(31.4)
(軽油)	(▲2.0)	(+0.2)	(23.0)	(23.2)	(23.3)
(A重油)	(▲9.2)	(▲5.2)	(30.4)	(29.1)	(30.1)
(C重油)	(▲1.4)	(▲4.8)	(29.9)	(32.6)	(31.8)

注：数値は、資源エネルギー庁公表値に基づき当社作成(当社販売数量/内需*)

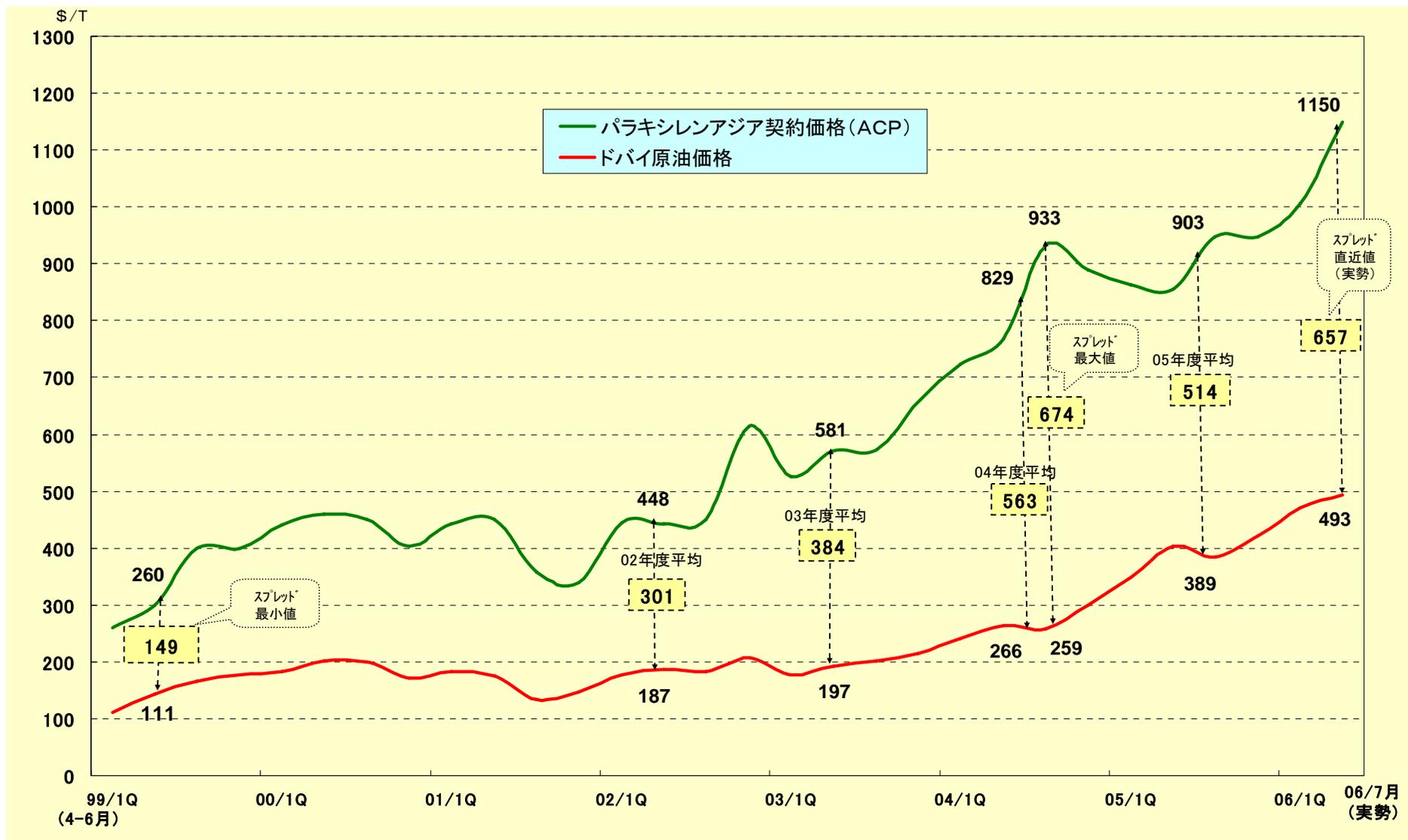
※2006年6月の内需は当社による想定値

参考データ④

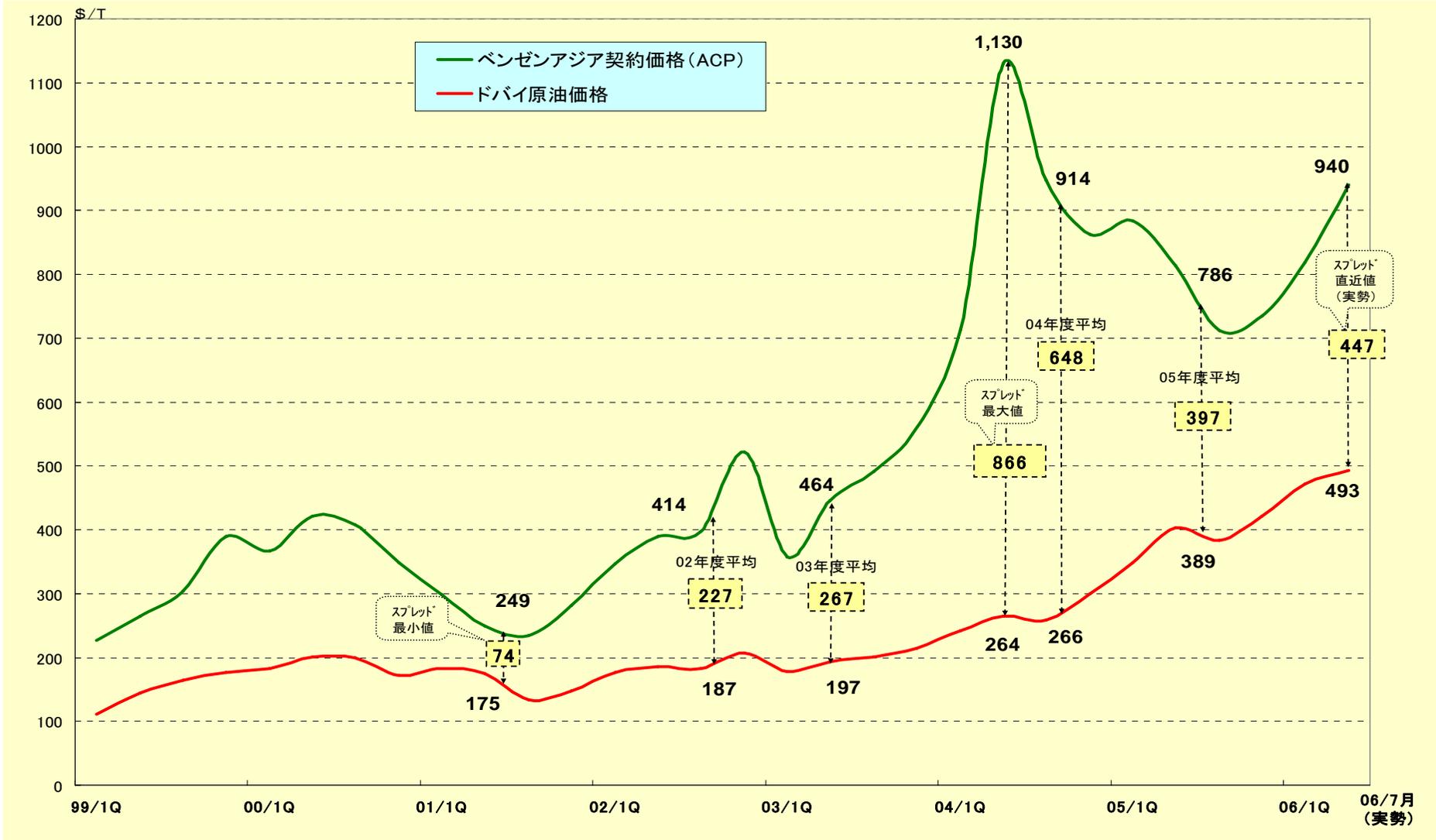
＜スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移＞



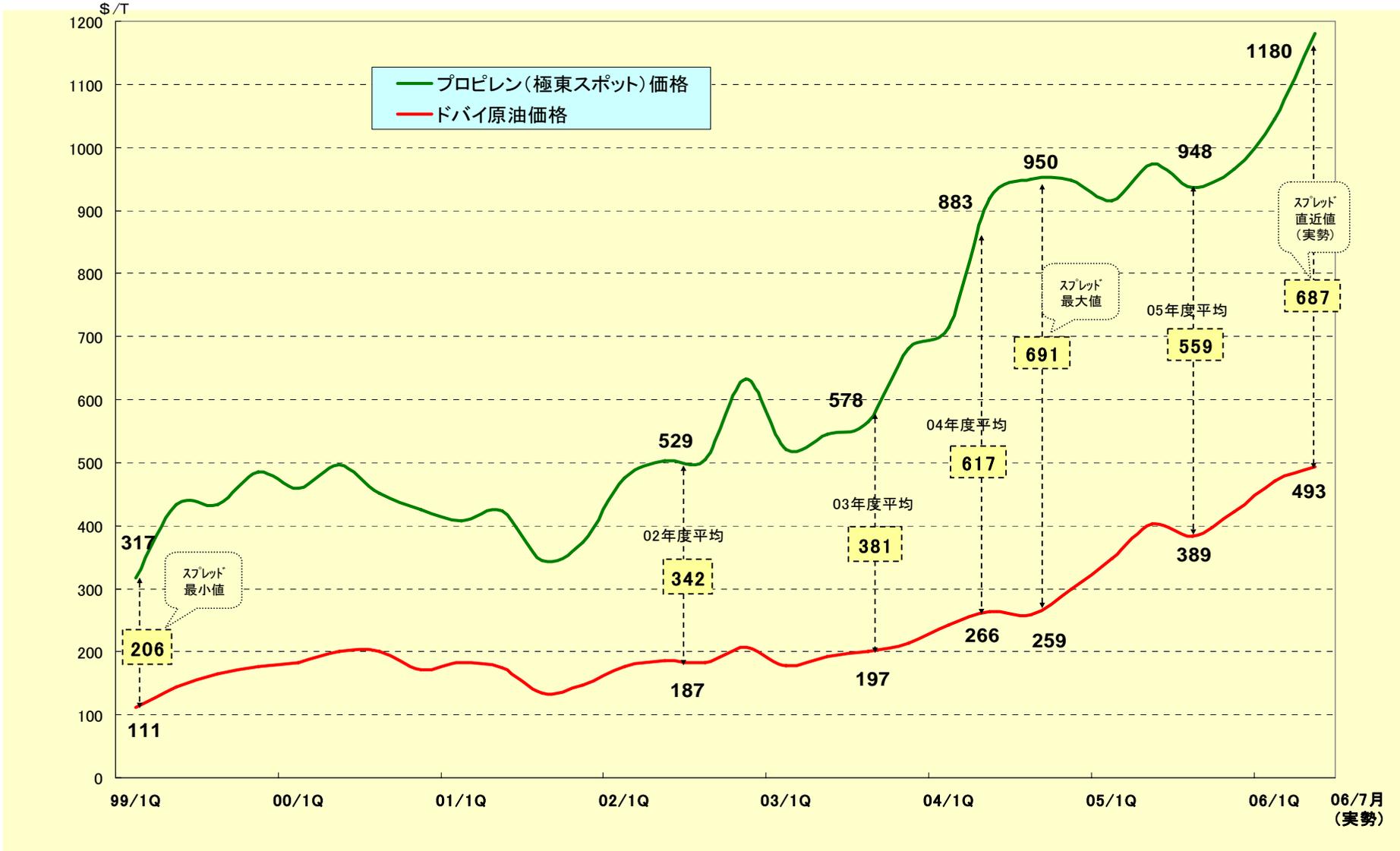
<スプレッド(パラキシレン価格ードバイ原油価格)の推移>



<スプレッド(ベンゼン価格ードバイ原油価格)の推移>



<スプレッド(プロピレン価格ードバイ原油価格)の推移>



参考データ⑤

<SS数(固定式)>

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度1Q
新日本石油	11,333	11,059	10,807	10,700
(うち社有)	2,607	2,518	2,436	2,410

<セルフSS数>

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度1Q
新日本石油	520	651	794	853
全 国	3,423	3,493*	4,257*	4,530*

*元売系列のセルフSSのみ

出所：石油情報センター、燃料油脂新聞

<Dr. Drive数>

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度1Q
新日本石油	1,871	1,963	2,505	2,504

参考データ⑥

<トッパー稼働率>

単位：%

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度1Q
新日本石油グループ	83	87	88	85

<油槽所数>

	2004年4月	2005年4月	2006年4月	2006年度1Q
新日本石油	51	50	50	49

<石油・天然ガス開発生産数量(日量)>

単位：千BD

	2003/1-12平均	2004/1-12平均	2005/1-12平均	2006/1-3平均
新日本石油グループ	66	111	156	164

※プロジェクト会社取り分ベース

＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。